

4月になったとはいえ、まだまだ暖房が欠かせない北海道です。市内厚別町に『北海道開拓の村』というミュージアムがあり、行ってまいりましたので紹介します。

以前、北海道は『蝦夷地』と呼ばれていましたが、明治2年に『北海道』と呼び変えられました。それから開拓の歴史が始まったそうです。野外博物館『北海道開拓の村』では、開拓への取り組みが分かりやすく学べます。

開拓前は大原始林に覆われ、住む人々は狩りや野草を摘んで食べる漁獵生活が営まれていました。その時代から現在に至るまでの、先人の苦労や喜びが分かるようなミュージアムとなっています。明治から昭和初期にかけて建築された、北海道各地の建造物が敷地内に復元・再現されていますので、見て回る間に当時の様子が思い浮かんでくる感じがしました。

北海道は観光名所が沢山ありますが、歴史を知るには北海道開拓の村に、一度訪れることをお勧めします。

札幌営業所(所長: 利川 光浩)

すっかり春らしい暖かい季節となりました。今回は仙台駅のすぐそばにある仙台市民の台所『仙台朝市』に行ってきました。

朝市といっても昼間も夕方もやっていますので、旅行で仙台駅を利用するならぜひ寄ってほしい地元の市場です。ここでは観光客向けの土産物やグルメとは異なる、地元の空気感いっぱいの仙台を見ることが出来ます。もちろん仙台・宮城から集まった新鮮な海の幸、山の幸が勢揃いしています。

仙台朝市は、終戦直後の仙台駅前のできた『青空市場』が起源です。山形から青果を運んでくる行商人が、帰りに塩釜の鮮魚を買って帰っていく…。そんな山の幸と海の幸が会おう場所として長い歴史があります。そして全体的な雰囲気がかどこか昭和チック。20世紀の仙台に迷い込んだような風情でした。

今回は鰯の一夜干しを買ったのですが、思いのほか塩気が強く、ご飯がかなり進みました。仙台に来たときはぜひ昭和チックな風情を感じてください。

仙台営業所(所長: 山田 義一)

KOYORAD

世界の拠点から
- From the base in the world -



パシフィック横浜で開催された『ジャパンインターナショナルボートショー2018』の展示会へ行ってきました。船は男のロマンと言いますが、出来ることなら自分の船を持ちたいという願望があり、横浜へ船を見に行きました。(見るだけで買えないですよ!)どこか雰囲気がモーターショーに似ており、展示品はボートやジェットスキー、車など、ワクワクするものばかりです。

一番人気はヤマハブースで、中でも一番高額なものは1億5000万円のEXULT(イグザルト)でした。私もヤマハブースには長時間滞在し、たくさん展示船に試乗させていただきました。ホンダマリンも和船を展示しており、こちらも注目を浴びていました。

しかし、個人的に度肝を抜かれたのがトヨタレックス。こちらのボートは日本ボートオブザイヤー2017を受賞しており、他メーカーのボートとは異なるスタイルにカラーリング、装備、運転席になっています。細部に至り、まさにラグジュアリーボートと呼ぶにふさわしく、とにかく半端ないくらい凄い船です。また、一昨年にはメルセデス、アストンマーティンなどもマリンボートを製作発表しています。

陸に車を停めて、そのまま船に乗るというライフスタイルに、やっぱり憧れます。

東京営業所(所長: 木下 敦裕)

皆様いかがお過ごしでしょうか。今回は静岡市清水区にある『フェルケール博物館』を紹介いたします。

『フェルケール』という人の名前のような聞き慣れない名称ですが、ドイツ語で『交通』を意味するようです。博物館の正式名称は清水港湾博物館で、愛称がフェルケール博物館となっています。

交流の場である港に焦点を当てて、清水港を中心とした港に関する博物館です。館内には清水港に関連した船の模型や船舶関連品・港湾作業道具などが展示され、清水港の歴史が紹介されています。

また、隣接して缶詰記念館もあります。ここは日本で初めてまぐろ油漬缶詰を製造し、アメリカに輸出した清水食品株式会社(ブランド名は皆様よくご存知のSSK)の創立当時の本社社屋が移築されています。この缶詰は清水を支える産業として紹介されています。

今回私が行った際には、企画展示で、サントリー・トリスウイスキーのキャラクター:アンクルトリス(よく広告などで見かけるキャラクター)の作者である、柳原良平氏の絵が展示されていました。企画展示の内容は色々変わるようなので、皆様も一度足を運ばれてはいかがでしょうか。

名古屋営業所(所長: 高橋 鉄夫)

春になり、ドライブ日和になってきました。関西では新名神高速道路の高槻JCTから神戸JCTまで完成して、関東や中部から中国地方に抜ける際は2ルート使えるようになり、渋滞緩和が期待されています。私がよく使う中国道の宝塚ICは渋滞の名所『宝塚トンネル』があり、その渋滞箇所を回避するクルマが増えるのでメリットが大きいです。

さて、新名神のこの区間に、西日本最大級の宝塚北サービスエリアが新設されました。ここは上下線共用のSAで一般道からも利用できます。しかし、一般道からの駐車場は15台分しかなく、数時間待ちの情報もあったので、あえて高速道路から入りました。

フードコートには神座ラーメン、タカラヅカキッチンなど、あまりSAでは見ない店が出店しており、メニューの中には『完売』の貼り紙も見えました。ショッピングコーナーでは宝塚が地元の手塚治虫グッズ販売、宝塚歌劇DVD販売、いかりスーパー、スイーツに至ってはアンリ・シャルパンティエなど、関西では名の通った店が出店していました。

私は西日本SA初出店のヨゴリーノでいちごのヨーグルトジェラートを味わって、外のキッチンカーで販売していた北坂たまごのプリンを購入。ドライブついでに寄るのも良いですが、スイーツ好きには目的地となるSAだと思いました。

大阪営業所(所長: 藤谷 弘行)

少し前の話になりますが、大宰府天満宮で全国各地の梅酒が集まる祭典『梅酒祭り』が開催されました。当日券を購入すれば、150種類の梅酒が30分間で何回でも試飲できます。気に入ったものがあれば、その場で購入することもできるとのことなので、早速行ってきました。

当日は休日、梅の開花時期ということもあってか、午前中なのに参拝客や外国人の観光客の方で参道はいっぱい。足早に会場に向かい、列に並んでルール説明を聞きます。いざ！会場へ入場し、お目当ての梅酒とそ

の隣の梅酒を試飲。味わいたいのを通り越して、ひたすら試飲。20分くらいたったところで、既に酔っ払ってしまっていることに気がきましたが、構わず試飲(滝汗)。ほぼ一気飲みしていたこともあり、終了のアナウンスがあった時には出来上がっていたことは言うまでもありません(笑)。

ちなみに会場に用意された150種類全ての梅酒を飲んだ場合、7合ほどの量になるそうです(笑)。毎度思うことではありますが、お酒はほどほどが一番ですね。

福岡営業所・沖縄配送センター(所長:江頭 慎司)

私たちはいつも周りにあるたくさんの木や鳥でリラックスしています。ですが、多すぎることはよくありません。シンガポールの都市を横断する木々に生息する鳥の個体数は、だんだん増加しています。昨年、ハトに関する苦情が政府に5000件以上寄せられました。外にかけていた服や家の壁が汚れるなどの苦情がありました。

深刻な問題としては、ハトが病気を蔓延させることであり、政府が注意を払う最も重要な問題です。この件に関して、住民がハトに餌を与えることによる害について教育が行われ、政府はさらに、ハトに餌を与えた人に500シンガポールドルの罰金を課す規制を発令しました。

それに関わらず、知らずに餌やりを続けている方も多く、習慣を止めることは容易ではありません。習慣を変えるには、まだ多くの労力と時間が必要です。周りに鳥がいるのは良いことですが、数が増えれば別の問題が生じます。

したがって、少なすぎたり多すぎたりせず、その間の良いバランスを保つことが重要です。ただし、すべての調和をとることは、常に簡単ではありません。

KIO(シンガポール)(E.Wong)

アメリカの4大プロスポーツの1つである、『メジャーリーグ・ベースボール』が3月末に開幕しました。KCS近辺にホーム球場があるチームはロサンゼルス・ドジャースとアナハイム・エンジェルスです。

今まで何回も両球場とも足を運んだ事もあり、地元チームとして成績を気にしてはいましたが、特に今年は北海道日本ハムファイターズで活躍した大谷翔平選手がエンジェルスでプレーする事になったので、大谷選手のメジャーリーグでのプレーを心待ちにしていました。

メジャーリーグでも投手と打者の二刀流で活躍できるかどうか期待に胸

が膨らむ中、オープン戦は初めて対戦するメジャーの投手・打者への対応に苦戦していた様でしたが、開幕戦で初打席初安打を記録し、上々のスタートを切りました。球場での活躍も話題になりますが、開幕前のキャンプから渡米しているため、地元の日本人の間で大谷選手の目撃情報が飛び交い、関心の高さを改めて感じました。

今シーズンは出来るだけ球場に足を運んで、大谷選手の生のプレーを堪能するつもりですが、大谷選手が在籍している限り、エンジェルスへの応援熱が冷めやらない予感がしています笑。

KCS(アメリカ)(社長:江尻 拓馬)

家内の弟の子は女の子で、少し変わった目を持っていることに最近気づきました。子供の時、近くに誰もいなくても、話したり笑ったりしていることがよくありました。しかし、その時、両親は何も気づいていませんでした。

現在、彼女は高校1年生になり、一人で話したり笑ったりすることはありません。ただ、最近では高校の友達に変な発言をしているそうです。例えば、友達はもうすぐ恋人と別れると言ったり、さらにその原因を話したり。不思議なことに当たることが多いそうです。

彼女のお父さんがその話を聞いて、彼女に注意をしました。「もうこれから他人に変な発言をしないで、前もってお父さんに言いなさい。」彼女のお父さんは本当に彼女にそういう『Magic Power』があるかどうか、疑い始めました。試しに彼女の知らない出来事を聞くと、なんとその返答は正解でした。

先日、彼女に会って自分が最近感じている『悪い気持ち』の原因を聞いてみました。今の悪い気持ちの原因について、いくつか話をしてくれました。信じられないくらい気持ちがますます悪くなりました。悪いことが起こらないように助言もされました。とりえず彼女に言われたことをやって、自分に変な出来事がないように祈っています。

KJI(インドネシア)(工場長:S.Akhyar)

～3分で到着～

3月より新たにKHE(中国蘇州工場)に着任いたしました、山本です。アメリカの販売会社(KCS)での5年間の勤務を経て、私にとっては二度目の蘇州工場です。これまでの経験を活かし、皆様のお役に立てるよう全力を尽くします。どうぞよろしくお願い致します。

6年ぶりの蘇州の街は懐かしさもある一方、以前に比べその急速な発展に毎日驚いております。現地スタッフに頼んで、中国の生活で欠かせない携帯アプリをいくつか設定してもらいました。とても助かっている必須アプリの1つが配車サービスです。

アメリカのUber(ウーバー)と同じ方式で、目的地を入力し車を呼べば、地図に車の位置情報やナンバープレートの情報が表示されます。待つこと3、4分で到着です。支払いも携帯のアプリ経由で完了するため、どこへ行くにも大変便利です。通常のタクシーより安く、運転も丁寧です。

日本での本格的な普及には法令関係の壁があるようですが、人口13億の中国でこの種のサービスの普及スピードには驚かされます。まだまだ応用編の便利アプリもたくさんあるようです。現地スタッフに手ほどきしてもらいながら私も早くこちらの生活になじんでいこうと思います。

KHE(中国・蘇州)(総経理:山本 博史)